

車ではなく徒歩か自転車で

由井三での練習や試合の時、歩いて通える範囲の家は自転車か徒歩で、車が必要な方はできるだけ乗り合わせてくるようにしてください。お子さんといういろいろなお話をしながら行き帰りの素敵ですよ。

体育館を使っている他の団体の車もあります。極力、車の数を減らしてください。最近、子どもの交通事故が続発しています。サッカーの行き帰りにそんな事があれば活動ができなくなります。

水・金の午後練の時のお迎えは、小校庭に車を入れてください。他の団体の車も多くなっていますので、由井三の副校長先生からもそう言われましたので。小校庭は出入りに注意してくださいね。

環境の面でもいいと思います。歩きか自転車をお願いします。

09・4・12 (日)
南NEWS NO 2

午後練中止の連絡はしません。

当日になって降雨等により午後練ができそうにないときは、特に連絡はしません。各自の判断してください。連絡網で流してもつながらない場合が多く、負担にもなるからです。原則、雨が降っているときは練習はなしです。

東八王子招待2年生 準優勝！！

4 / 11 鹿島小学校

○1試合目 南八王子1-0平尾 前半0-0

中居君、ゴール前の混戦からシュート。

○準決勝 南八王子2-0津久井 前半0-0

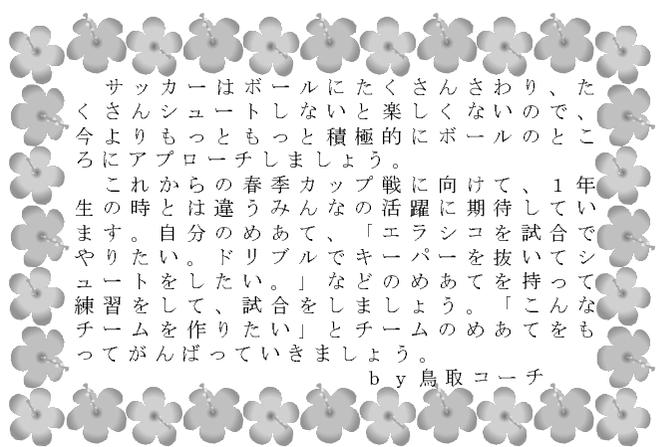
山本君が2得点。1点目はゴール前でこぼれ球をシュート。2点目は、コーナーキックを自ら蹴り、相手にあつたボールをシュート。

○決勝 南八王子0-1高尾 前半0-0

2年生になって初めての試合で、招待試合でも準優勝という結果はとても素晴らしいです。みんなで攻めて、守り、よくGAMBAつたと思います。

古賀君のボールをもった瞬間からドリブルで攻める姿は圧巻でした。他の子もボールに積極的に向かっていき、取られても諦めないで相手にプレッシャーをかけたり、カバーリングがよくできていたと思います。

攻撃では、守りの時とは違い、相手にボールが渡った瞬間に一度泊まってしまう場面が多く見られたので、GAMBAつて守りの時と同じようにすぐにプレッシャーをかけられたらもっと良くなりますよ。



サッカーはボールにたくさんさわって、たくさんシュートしないと楽しくないので、今よりもっと積極的にボールのところへアプローチしましょう。

これからの春季カップ戦に向けて、1年生の時とは違うみんなの活躍に期待しています。自分のめあて、「エラシコを試合でやりたい。ドリブルでキーパーを抜いてシュートをしたい。」などのめあてを持って練習をして、試合をしましょう。「こんなチームを作りたい」とチームのめあてを持ってがんばっていきましょう。

by 鳥取コーチ

「学問のススメ」を著した福沢 諭吉翁が次のような言葉も残しています。

「心訓」

- 一、世の中で 一番楽しく立派な事は 一生涯を貫く 仕事を持つと云う事です
- 一、世の中で 一番みじめな事は 人間として 教養のない事です
- 一、世の中で 一番さびしい事は する仕事のない事です
- 一、世の中で 一番みにくい事は 他人の生活をうらやむ事です
- 一、世の中で 一番尊い事は 人の為に奉仕して 決して 恩にきせない事です
- 一、世の中で 一番美しい事は すべての物に 愛情を持つ事です
- 一、世の中で 一番悲しい事は うそをつく事です

南のボランティア精神に相通ずる基本理念が脈々と流れている言葉ですね。かみしめながらクラブの活動、子どもたちの指導に活かしていきたい言葉です。

私、矢上にとって、南八王子サッカークラブはライフワークです。迷惑をおかけすることの多い私でも30年余の年月も活動してこられたのは、子どもたちの笑顔を見る喜びとたくさんの方のコーチの皆様、お家の皆様、後援会の皆様、地域の皆様、校長先生をはじめとする学校の先生方のご協力のおかげです。言い尽くせない感謝の気持ちでいっぱいです。お返しは、グラウンドで子どもたちへの指導に誠心誠意、力を尽くすことだと肝に銘じて活動してきました。

ですから、年度末に、南を創立して以来初めて、ある学年のお別れの会に出席できなかったという私にとって非常に悲しいことがあっても、子どもたちがいるグラウンドへと心がかき立てられるのです。

南は、セレクションをしません。入会を希望するお子さんは全て大切な仲間として受け入れ、優しく強い子になって欲しいと願いながら活動しているのです。

お家の方が協力的でなくても、協力できないお家の子でも、課題を抱えている子でも、みんな大切な仲間です。よく南に入ってくれたねと感謝しながら、一緒にサッカーを楽しむ仲間です。みんな宝物です。

様々な家庭で育てられ、生育歴も違う子どもたちが集まれば、小さな社会が形成され、大人社会と同じ様な問題がたくさん発生します。でも、大人と違うところは、子どもは豊かな可能性、可塑性を持っているということです。問題が起きたときは良い学びの機会なのです。鳥取コーチが述べているように、諦めずに、逃げ出さないうで、みんなで楽しいサッカーを創るという目標に向かって活動する中で、問題を解決し、他を思いやる優しさ、やらなければいけないことをやり抜く強さを自らに育んでいくのです。三間の中で、優しく、強く育っていくのです。

無力感に襲われたり、悲しみに打ちひしがれることもたくさんありました。でも、子どもたちの笑顔に励まされ、背中を押されてGAMBAってきました。

これからは未来ある子どもたちのことだけを考えていきましょう。南の願い・活動の方針を理解して下さる人だけに南に残っていただき、一緒に子どもたちのためにGAMBAりましょう。子どもが育つ楽しいクラブを創っていきましょう。

文責 南八王子サッカークラブ代表 矢上 健